



2024年7月8日

各 位

SEホールディングス・アンド・
インキュベーションズ株式会社
代表取締役社長 速 水 浩 二
(スタンダード・コード9478)
問 い 合 わ せ 先
執行役員経営企画部部长 松 村 真 一
T E L 0 3 - 5 3 6 2 - 3 7 0 0

【SEプラス】「ITエンジニアの内定期間学習」に関するアンケート調査実施

当社グループ子会社である株式会社SEプラス(本社：東京都千代田区 代表取締役 村田 斉)は、新人研修期間中のITエンジニア121名に対し、「ITエンジニアの内定期間学習」に関するアンケート調査を実施し、調査結果を公表致しました。

詳細につきましては、添付しました同社プレスリリースをご参照ください。

◆本件に対するお問い合わせ

株式会社SEプラス e&TS Div. 広報担当：寺井（てらい）
お問い合わせ先：<https://www.seplus.jp/#contact>

◆IR に関するお問い合わせ

SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社
経営企画部経営企画課
TEL 03-5362-3700
お問い合わせ - SE Holdings and Incubations Group (sehi.co.jp)

以 上

新人 IT エンジニアの 77%が「内定期間中の学習やっておくべき」と回答【調査リリース】

～内定期間の望ましい学習内容や方法など、新人 IT エンジニアに対し、内定期間中の学習に関するアンケート調査を実施～

IT 教育会社である株式会社 SE プラス（所在地：東京都千代田区、代表取締役：村田 斉、以下当社）は、新人研修期間の IT エンジニア 121 名に対し、「IT エンジニアの内定期間学習」に関するアンケート調査を実施致しました。調査結果を以下に発表します。

調査背景

日本国内では年々、IT エンジニアとなる新卒者の数が増加しています。中でも文系を含む理系以外の学部出身者が増加しており、2015 年に理系出身者の割合を超え、2023 年には新卒 IT エンジニアの 61.8%が理系以外の学部出身者となりました。（※参照：ヒューマンリソシア株式会社「IT エンジニアへの就職動向レポート」https://corporate.resocia.jp/info/news/20240312_itreport_ja_01）

IT 人材不足を補うために、多くの企業で出身学部や経験にかかわらず IT エンジニアの新卒採用が強化される中、育成方法についても時代や状況に合わせて検討する必要があります。

そこで当社では、内定者教育に着目し、新人 IT エンジニアに対し内定期間の学習に対するアンケート調査を実施いたしました。

調査概要

調査主体：株式会社 SE プラス

調査対象：2024 年度入社の新入 IT エンジニア 121 名

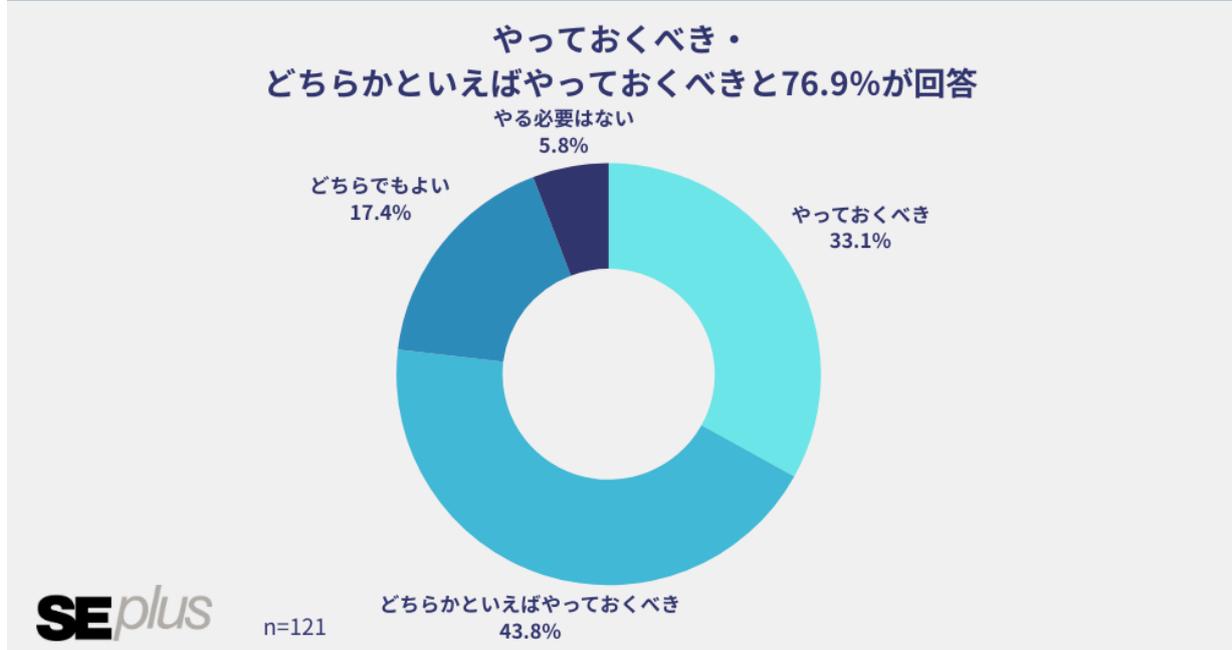
調査実施時期：2024 年 5 月 31 日～6 月 14 日

調査結果サマリー

- 新人 IT エンジニアの 77%が「内定期間中の学習はやっておくべき」と考えている
- 未経験者と少しでも IT の学習をしたことがある“微経験者”では、新人研修カリキュラムについていくのにとっても苦労した人の割合において 2 倍以上の差がついている
- 内定期間中にやっておくべき学習内容圧倒的 1 位は「IT 用語や仕組みなどの基礎知識」
- 人気の学習方法 1 位は「e ラーニングなど、オンラインで学べるもの」

1. 新人 IT エンジニアの 77%が「内定期間中の学習はやっておくべき」と考えている

内定期間の学習について、新人研修受講中の今どのように考えるか



新人研修受講中の今、内定期間中の学習についてどのように考えるか聞きました。

やっておくべき 33.1%、どちらかといえばやっておくべき 43.8%と、合計 76.9%と **8 割近くの新人が内定期間中の学習はやっておくべきだと考えている**ことが分かりました。

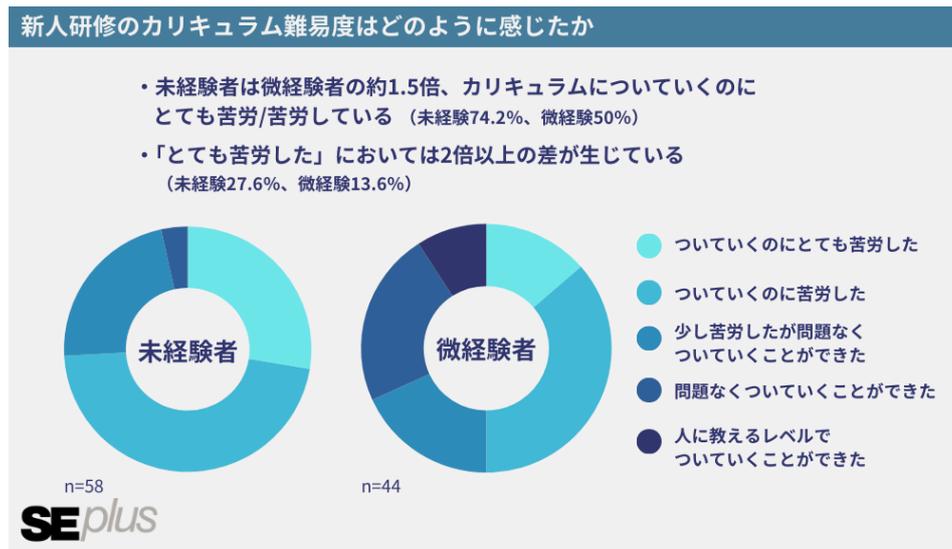
内定期間の学習を「やっておくべき」「どちらかといえばやっておくべき」と回答した方の理由としては、以下のように「**基礎知識があることで理解がしやすくなる**」「**余裕をもって進められる**」といった理由が多く挙げられました。

- スタートダッシュに役立つのと余裕を持って進められる。
- 基礎知識があると、より講義への理解に繋がると感じたため。
- 内定期間の学習では正直わからないことばかりだったのですが、講義で再度学ぶときに理解しやすかった。
- IT 用語は一度聞いただけでは頭に入ってこないもので、一度用語だけでも目を通しておくと、理解しやすくなると思う。
- 知識が 0 と 1 では、研修で頭に入ってくる情報量が全く違う。事前学習しておくことで、研修の理解度が変わってくるため。

逆に、内定期間の学習を「やる必要はない」と回答した方の理由としては、以下のように「**自主学習では限界がある**」「**給料が発生しない**」といった理由が挙げられました。

- やっても特に給料が発生するわけではないから
- 自分で勉強してもわからないことはわからないため
- 内定期間は労働時間ではないため
- 自主学習では限界があるから

2.未経験者と少しでも IT の学習をしたことがある“微経験者”では、新人研修カリキュラムについていくのにとっても苦労した人の割合において 2 倍以上の差がついている

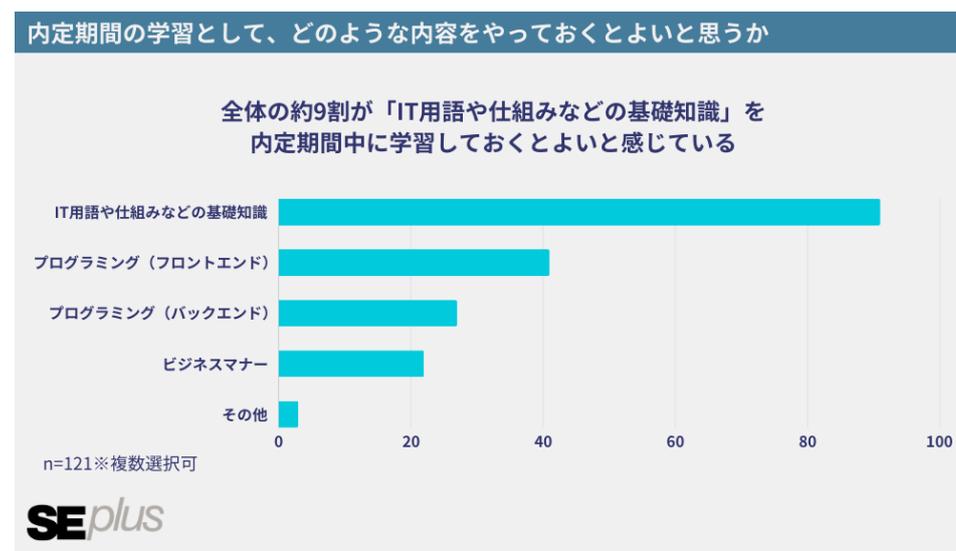


未経験者と、入社前にプログラミングの実践経験が少しあったり、知識として IT を学習をしたことがある“微経験者”それぞれに新人研修のカリキュラム難易度について聞きました。

未経験者では「ついていくのにとっても苦労した」27.6%、「ついていくのに苦労した」46.6%（合計74.2%）であったのに対し、微経験者では「ついていくのにとっても苦労した」13.6%、「ついていくのに苦労した」36.4%（合計50%）という結果になり、**未経験者は微経験者の約 1.5 倍カリキュラムについていくのに苦労を感じている**ことが分かりました。

特に「とても苦労した」においては未経験者は微経験者の 2 倍以上の差が生じており、**入社前に少しでも学習をしておく**と研修の理解が進みやすいことが分かりました。

3.内定期間中にやっておくべき学習内容圧倒的 1 位は「IT 用語や仕組みなどの基礎知識」

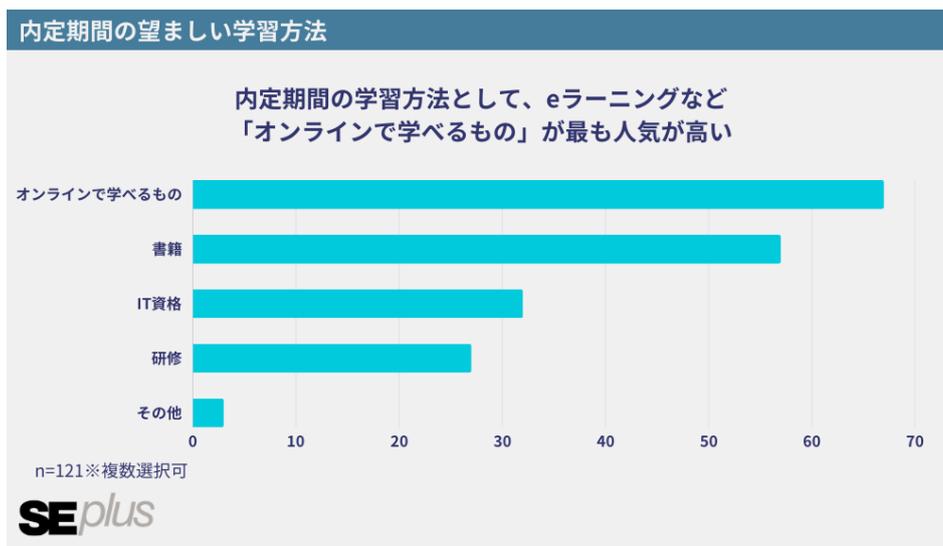


内定期間中にどのような内容を学習しておくのとよいと思うかを聞きました。

「IT用語や仕組みなどの基礎知識」と約9割（87.5%）と圧倒的な1位であり、ついで2位プログラミング（フロントエンド）、3位プログラミング（バックエンド）、4位ビジネスマナーという結果になりました。

内定期間中に学習をするべき理由として、「基礎知識があることで理解がしやすくなる」といった意見が多く見られたため、「IT用語や仕組みなどの基礎知識」が圧倒的な1位となったと考えられます。

4.人気の学習方法 1位は「eラーニングなど、オンラインで学べるもの」



望ましい学習方法は「eラーニングなど、オンラインで学べるもの」が64.4%で1位、ついで2位書籍、3位IT資格、4位研修という結果になりました。オンライン学習や書籍学習など、自由な時間に個人のペースで進めやすいものの人気が高いようです。

まとめ

今回の調査から、新人研修を経験した8割近くの新人エンジニアが、事前に基礎知識があることで研修での理解が深まるため、内定期間の学習はやっておくべきと感じていることが分かりました。

実際に全くの未経験者と、入社までに少しでもITの経験がある微経験者とでは、研修の難易度について感じ方に大きな開きが生まれています。

こうした結果から、理系以外のITエンジニア採用が増加する現在、内定期間からITの基本用語など、少しでもITに触れる機会を作っておくことが1つの効果的な育成方法と考えられます。その上で、内定期間にどのようにITに触れてもらうか、どれくらいのレベルまで理解してもらうかなど、各社検討することが今後重要になるのではないのでしょうか。

参考：無料ウェビナー「内定者研修×基本情報技術者試験対策 -教育担当者がすべきこと-」

当社では科目A免除制度を活用できるeラーニングを通して、毎年約100社の内定者研修をサポートしております。

そこで、これまでの事例や知見をもとに、

- ・内定者研修で基本情報技術者試験対策を実施している企業のご担当者様
- ・これから研修を検討していく企業のご担当者様

向けに、研修の受講率・試験の合格率を向上させるためのポイントをお伝えする無料ウェビナーを開催いたします。

<ウェビナー概要>

開催日：

2024年7月17日（水）11:00～11:30 ※質疑応答込み

※当日はZoomウェビナーを使用します。接続可能なデバイスをご用意ください。

お申込みURL：

<https://contact.seplus.jp/form/dokuzemiwebinar2024>

当日の内容：

- 1.内定者研修でよくある課題
- 2.新入社員に聞く 内定期間中の学習についての調査結果
- 3.より効果的な研修にするために 教育担当者がすべきこと

開催形式：オンライン（Zoom ウェビナー）

参加費用：無料

主催：SE プラス